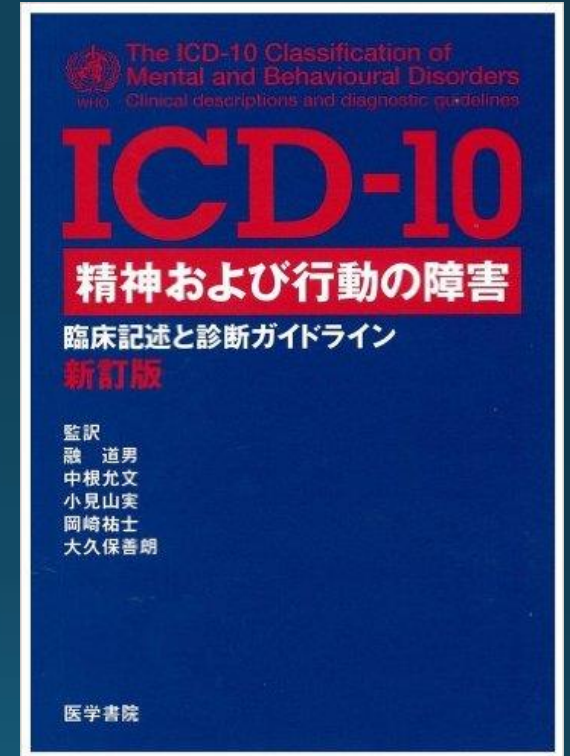


ICD-10

疾病及び関連保健問題の国際統計分類

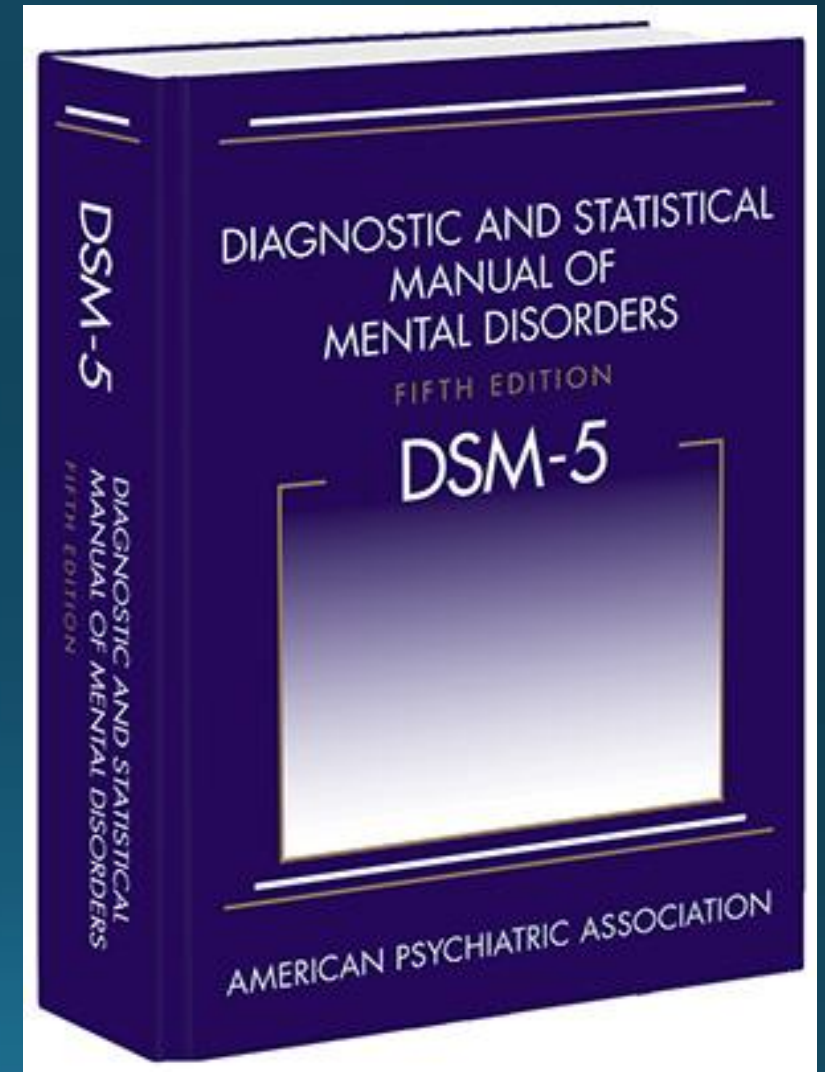
(International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems)

- F0 症状性を含む器質性精神障害
 - F00 アルツハイマー病型 **認知症**
- F1 精神作用物質使用による精神および行動の障害
 - F10.1 急性アルコール中毒
 - F2 **統合失調症** および妄想性障害
 - F3 **気分（感情）障害**
 - F31 双極性感情障害
 - F4 神経症性障害，ストレス関連障害および身体表現性障害
 - F41.0 パニック障害
 - F43.1 外傷後ストレス障害
 - F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群
 - F6 成人の人格および行動の障害
 - F60.4 パーソナリティ障害
 - F7 精神遅滞
 - F8 心理的発達の障害
 - F84.5 アスペルガー症候群
 - F9 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害
 - F90.0 活動性および注意の障害 注意欠陥・多動性障害
 - F99 特定不能の精神障害



DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル

1. 神経発達症群／神経発達障害群
2. 統合失調症スペクトラム障害および他の精神病性障害群
3. 双極性障害および関連障害群
4. 抑うつ障害群
5. 不安症群／不安障害群
6. 強迫症および関連症群／強迫性障害および関連障害群
7. 心的外傷およびストレス因関連障害群
8. 解離症群／解離性障害群
9. 身体症状症および関連症群
10. 食行動障害および摂食障害群
11. 排泄症群
12. 睡眠-覚醒障害群
13. 性機能不全群
14. 性別違和
15. 秩序破壊的・衝動制御・素行症群
16. 物質関連障害および嗜癖性障害群
17. 神経認知障害群
18. パーソナリティ障害群
19. パラフィリア障害群
20. 他の精神疾患群
21. 医薬品誘発性運動症群および他の医薬品有害作用
22. 臨床的関与の対象となることのある他の状態



精神科の3大疾患

- 統合失調症 schizophrenia
- 気分障害 mood disorders
 - うつ病 (単極性障害 major depression)
 - 躁うつ病 (双極性障害 bipolar disorder)
- 認知症 dementia
 - アルツハイマー型認知症 alzheimer's disease
 - 脳血管性認知症 vascular dementia
 - レビー小体型認知症 dementia with Lewy body
 - 前頭側頭型認知症 frontotemporal dementia

看護理論に提示されている看護の目的

フローレンス・ナイチンゲール

患者の自然治癒力が発揮できるように患者を最良の状態に保つこと

ヒルデガード・E・ペプロウ

教育的手立てを通してパーソナリティの発達と成熟を促すこと

フィル・バーカー

人が成長、発達、変化を経験し、自身の経験から重要な何かを学ぶことができる状況を提供すること

③日本の現状

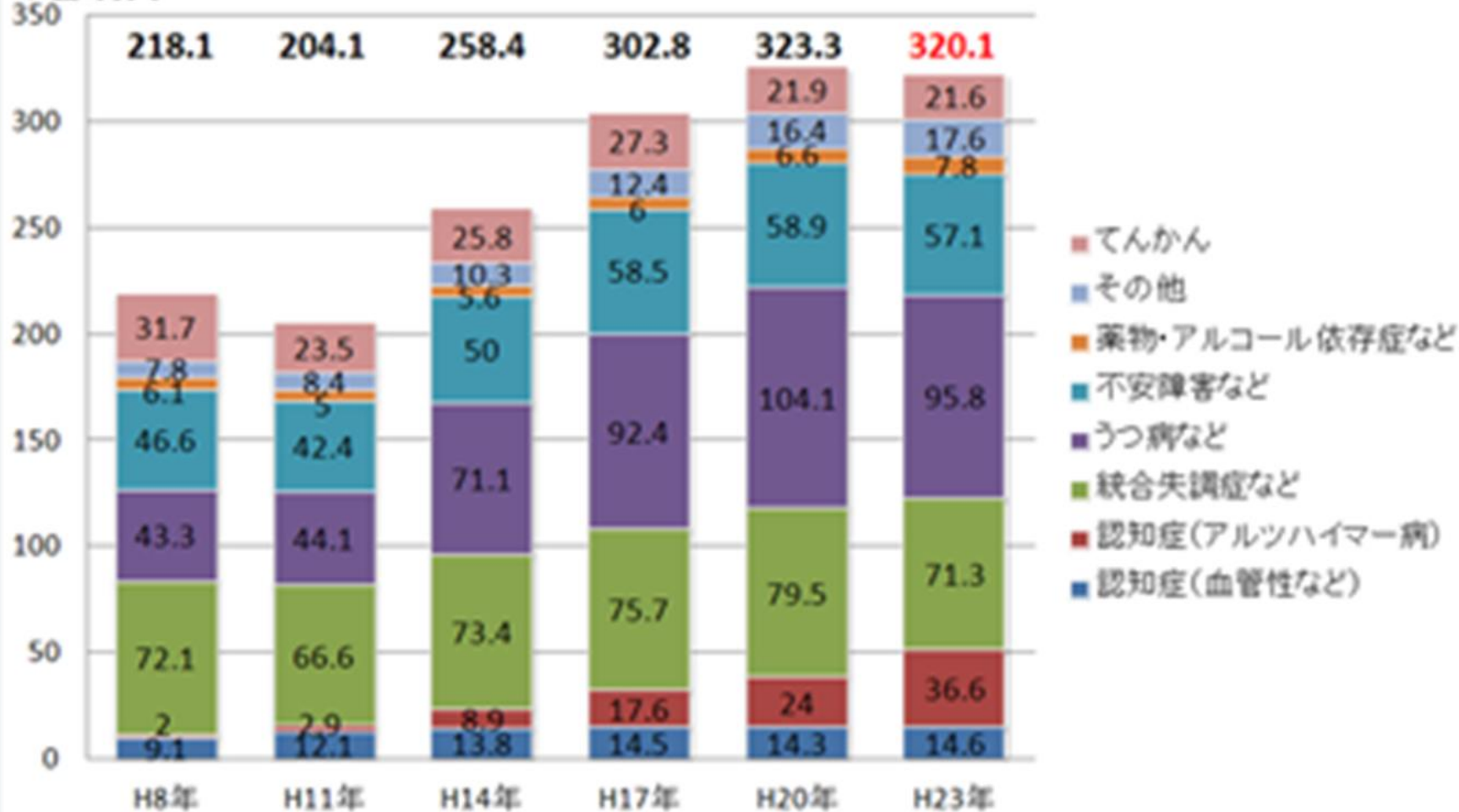
近年、我が国では、精神疾患により医療機関にかかっている患者数は**増加**しています。

2010年では入院と外来を合わせて283万人にのぼります。

精神疾患の患者数

(医療機関に受診する患者の疾病別内訳)

単位:万人



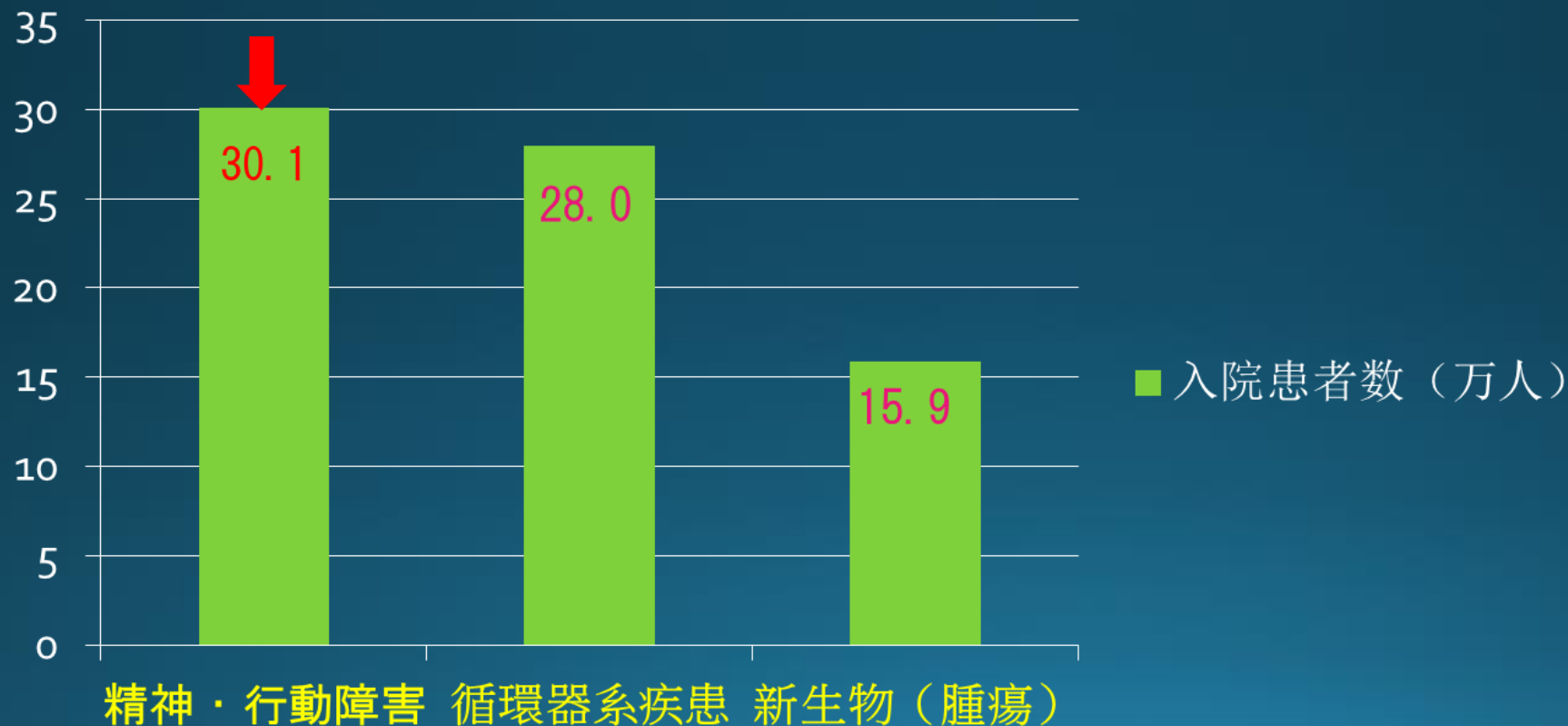
※H23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いている

資料：患者調査

厚生労働省の患者調査報告書 (2008年)

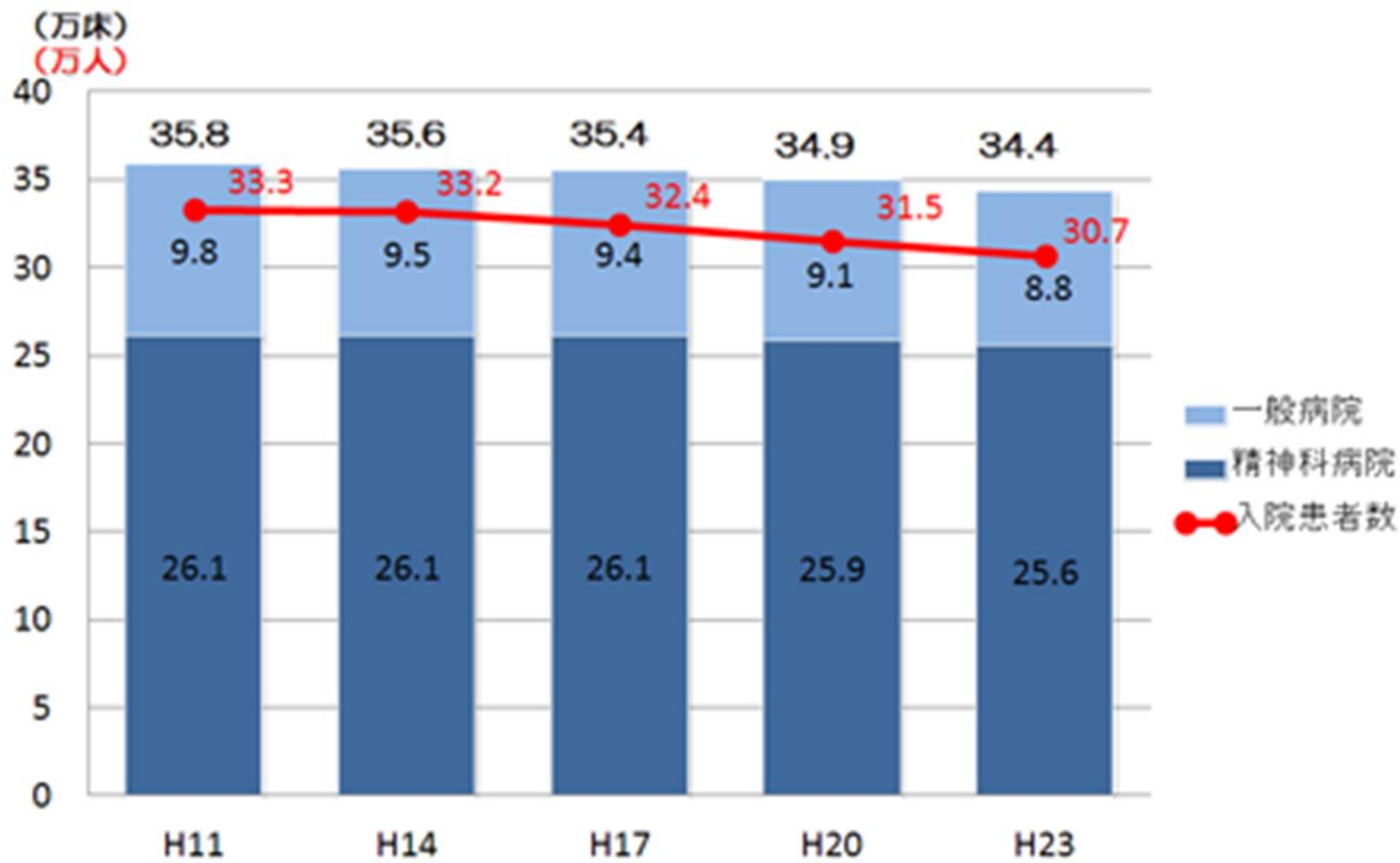
疾患別入院患者数（万人）

※全国の全疾患入院患者合計139.2万人



精神疾患で受療中の患者数が2008年時267.8万人と、4大疾患の患者数（糖尿病237万人、悪性腫瘍152万人、脳血管疾患134万人、虚血性心疾患81万人）を大きく上回る。厚生労働省は、2011年、医療計画に記載すべき疾患として精神疾患を加え5大疾病とした。

精神病床数および入院患者数の変化



※H23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いている

資料：病床数-医療施設調査 入院患者数-病院報告